

# 2026年度:第2回 SIC 実行委員会 議事録(案)

2026年3月19日(木)

実行委員長 松本隆明

1. 日時 2026年2月17日(火) 15:00~17:00
2. 開催形式 オンライン開催
3. 出席者(敬称略)

<委員>

正会員) 構造計画研究所 中野、NRI 藤野、 日立 高橋 横河 牧野  
ロジス 櫻田、徳永

準会員) 電腦バンク 浦田

個人会員) コマースロボティックス 吉武

SIC) 松本(実行委員長)、出口(事務局長)

<SIC> 船橋監事 , 新谷監事

<事務局> :久保(記)

・前回議事録確認 (1/20日(火):15:00~17:00 開催) 特段の異論なく了承された。

## 4. 議事

### (A) 報告事項

下記項目について、事務局から報告した。

- ① SIC フォーラム 第1回開催(2月19日(木)開催)の参加申し込み状況報告  
「STEAM 教育とシステム化:数理と合意形成、そして、イノベーションへ」  
参加申込数 65名
- ② 決算報告 監査結果 2月3日の SIC 監事による監査結果を事務局から報告
- ③ 定時社員総会の開催(3月6日に開催予定)の議題説明
- ④ 横幹連合主催「国際標準化産学連携フォーラムフォーラム」後援依頼メール  
審議結果を報告(量子技術と AI の国際標準化に関するフォーラム)

### (B) 協議事項

- ⑤ 2026年度の活動計画の具体化について  
今年度の活動計画の骨子(7テーマ)について事務局より説明。  
事務局から概要を報告。この中で、藤野委員から物流分野の水平統合の必要性和  
コンソーシアム設立構想の説明があった。別途検討することになった。
- ⑥ 人財育成事業の活動 システム科学概論連続講義のプログラムについて  
概要を説明後、下記の意見が出た。  
・社内で参加者を募るにあたり、前提となる知識などを書いて頂けると  
車内で声をかけ易いので対応をお願いしたい。  
・セールストークのようなものが欲しい。  
上記については、パンフレットを作成するときに検討することにした。
- ⑦ AI 分科会の活動について  
企画書案について浦田委員から説明があり意見交換した。

### (ア) 内容に関する意見 > 実行委員長

- ・人間中心の AI エージェントで日本ならではの発想で進めたい。
- ・今風なテーマであるが、世の中の動きも早いので議論の進め方をどうするかが  
不明な点がある。  
活動をしながら、ドメインを絞り込み進めていく。

・AIの安全性の議論は大事で安全の視点はSICらしいと思われる。

(イ) 体制 事務局を何社かに分担して運営することを検討している

① 核となる中核メンバーにお願いして分科会を回していくを考えている。

(ウ) 参加希望についての実行委員からの意見

- ・未来洞察をやっているチーム等に声をかけたい
- ・全社的にAIについては力を入れているので参加したい。
- ・組織の変革でどのようにかわるかなどの議論について関心がある。

⑧ 戦略提言 ロジスティクス・エネルギー等の提言分野の深耕について藤野委員から提供されたプロモーションビデオを紹介してもらった。「日本の2030年の物流危機」 5～6分のビデオ詳細は、時間の関係で次回議論することになった。

(C) 広報活動

中野委員からニュースレター3月号の発行と内容について報告があった。

- ・3月号 浦田委員の執筆のAIに関する論説を掲載する。
- ・4月号 総会特集
- ・5月号 STEAM教育に関して猪原先生に寄稿して頂く。  
実行委員の名簿を3月号に掲載したい。

(D) 次回、次々回の実行委員会の開催日は下記で開催予定。

次回の予定 2026年 3月 24 日(火) 15-17。  
次々回の予定 2025年 4月 21 日(火) 15-17

以上

SIC事務局